

第8回カトリック召命チーム会合議事録

日時：2010年7月17日（土）16:00-18:00

場所：イエズス会管区長館（岐部ホール）310号室

はじめの祈り

審議事項

A. ホームページに関して

1. 公式ホームページのアドレスと公開日

- ・HP公開について池長大司教様からの承認の連絡ありましたので、7月25日の週に公開できるように最後の準備をいたします。
- ・公開される時のHPアドレスは <http://www.home.ne.jp/calling/>

2. 記事のお願い

3. 「呼ばれています、いつも」の曲を使用する場合、著作権の問題があるかどうかを調べる(大山)

B. 今後の活動の方向性とその確認

1. 第二回「青年たちの集い」の可能性

- ・宿泊による集いは、準備等が容易ではないので、半年に一度、あるいは年に一度ぐらいでいいのではないかと。
 - ・半日の集い（3～4時間）の集いを考える。
 - ・集まってくる人の目的は様々であり、全ての人のニーズに一度には答えられないが、順に答えられるのではないかと。（祈りの会、癒しの会、人生の目的を探る会・・・など）
 - ・他の召命グループと競合あるいは重複しないようにするべき。
 - ・この会の特異性を出す必要がある。
 - ・青年の集いを行い、より効果的な「集いの方法」を学び、そのデータを集める。
 - ・召命担当者にも参加を呼びかけ、共に効果的な召命の集いのあり方を探る・・・
 - ・召命担当者（司祭、修道者）、チームのメンバーには優れたその道に卓越的能力を持つ人たちがいる。その人たちの協力をえて種々の集まりを継続的にもつ。（召命黙想会、内観、座禅、人格成長と人間関係、教会典礼と奉仕・・・などなど）
 - ・各修道会、各教区の召命活動をつなげていく
 - ・WYD参加者のためのスペイン語講座などを行ってはどうかと
 - ・山野内師の応えは、「可能性はあるが・・・」
- * 結論：「青年の集い」を行う方向で検討する。
- ・9月の集まりの時にその素案を提示する（川原氏担当）

2. 第一回「教区召命担当者、男女修道会召命担当者のつどい」の可能性

- ・養成担当者と召命担当者を含めた集まりを行う
 - ・修道会や教区に養成担当者はいても召命担当者はいない場合、あるいは兼任している場合がある。
 - ・召命促進と養成は連続性があるので、いつか共に集まる機会があるとよい。
 - ・顔つなぎと召命と養成問題の共有のための集いがあるとよい。
 - ・その際、このチームがイニシアチブをとるのではなく、召命担当者に任せるほうがよいだろう。
 - ・HPを通して呼びかける。
 - ・日帰り、最寄りの担当者に集まってもらうことから始める。
 - ・9月の会合までに具体的な素案を提示する（大山担当）
- ・召命に関する集いに関する、データ分析研修を行う。

- ・召命の集いの回数を重ねる中で「データの分析と評価」も行うようにする。
- ・データ分析とその評価に関して、ボランティアで行う専門家たちがいる。
- ・召命、養成担当者をつめて行う。

・青少年向けの召命の集いをどのように行っているかの研修・サレジオ会の司祭に聴く

3. この会への協力依頼

- ・一粒会などに呼び掛けて、会議参加者や、このチームの活動への協力を願う。
 - ・横浜教区の一粒子には9月に大山が参加する予定。東京一粒会に対しても協力を願う。
- ・修道女連盟・7月23日（金）（13:30よりニコラ・バレにて説明会）

4. この「カトリック召命チーム」の売り込み

- ・ネットワーク・ミーティングなどとの連携・伊藤氏を通してHPにリンクしてもらう。
 - ・NWMとWYDの違い
 - ・NWMは出会い、情報交換、生活の分かち合い、飲み会などがなされる。
 - ・WYDは祈りと分かち合いがなされる。
 - ・NWM、WYD、その他の種々の召命に関する集まりが為されているが、その追跡調査、データ分析などはなされていない。効果的な集いがなされるためには、データ分析と評価をなすべきではないか。
 - ・NWM、WYDのグループのことに介入はできないが・

5. ナイスIIIの動きを見て、それとの協力関係・要請に応じて対応する。

C. 教会が直面している問題

1. 家庭の現状

2. 信徒による教会へのニーズ

3. 教会のイメージの転換が必要

4. 迫害の中にある教会

5. 教会共同体